

彼は、新 ザйнаブの部屋に行く前に、もう一人の妻ア イシャのもとへ行き、招待客が察してくれることを期待しました。しかし、彼らはまだ同じ 所に居残っていたので、また 人とともにア イシャの部屋へと行きました。

次に ったときには、人々は去っていたので、言者は部屋の中に入りました。イブン ア ッバ スは彼に おうとしましたが、言者ムハンマドはカ テンを め、出口を めたの2です。

この物 から得られる教 は、他人の家は私的なものであり、招待されたからといって居残ることは じるべき行 だということです。さらには、言者ムハンマドの しさから、彼は人々に去るように言えなかったという点で、どのようにして つけることなく教 を学ばせることが出来るかという例も得られます。彼は言 ではない手段を使って、招待客が去るべきだということを示し、彼の私的な 所を取り したあと、また の言 ではない手段を使って、宴は わったのだということを示したのです。

モ ゼとザフォ ラ

男性たちの中でたった2人だけが女性という状 で、彼女たちは い 列に んでいました。しかし、ついにある男性が、彼女たちを助けてくれました。彼のおかげで、彼女たちは羊とやぎの群れを家に れて ることができたのです。彼女たちの父 は年老いており、彼女たちには外の仕事をする兄弟がいませんでした。最も 担のかかる仕事である、家畜のための井 の水汲みは男性によってなされますが、その日は 良く助けを得て、新 な水と共に家路につくことができました。彼女たちの早い 宅に いた父 は、彼女たちに理由を き、彼女たちは旅人 の男性から助けてもらったのだ、と えました。

父 は一人の娘に、その男性を招待するようにと言いつけました。娘は井 に り、 ずかしげに彼のもとへと近づきました。彼女が声の届くところに着いたときに、彼女は彼に、助けてくれた感 のしるしとして、父 が彼を招待することを っている、と えました。彼は、その を地面に下げたまま、あなた方を助けたのは神のご 悦を望んでしたことであり、感 は必要ありません、と答えました。しかし、これが神からの助けだと 付いた彼は、その招待を受け入れました。彼女が彼の前を き出したときに、 で彼女のドレスがうきあがってしまい、彼女のくるぶしの が露わになりました。そこで彼は、彼女が

Footnotes:

1 これは、アッ=ティルミズィ の 承集からのものです。

2 アル=ブハリ によって えられているこのハディ スは、イブン アッバ スによって 告されています。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/398>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。